

数学教育世界会議 ICME12(韓国)で「日本の未来」を示そう！
 ―気軽に行ける国際会議、皆さんで参加し、発表しませんか―

ICME は国際数学連合 IMU 傘下数学教育国際委員会 ICMI の下、公式実施される世界最大の数学教育国際会議であり、数学教育研究者と数学教師、数学者が同等の役割を担い、様々な分科会が同時並行で自律運営される国際会議である。国際水準の学会であると同時に、多様なプログラムによる自由な発表、文化交流が積極的に展開される国際会議でもある。2000 年の ICME9 では数学教育学会が確かな貢献をした最重要国際会議でもある。

地方空港からソウル便が飛ぶ現在、文字通り、日ごろの学会活動の延長で参加・発表できる。旅費を心配しなくてもよい点で、院生、学生も、国際会議体験のよい機会である。震災後の日本の元気を示す意味でも、若手世代を育てる意味でも、日本の明日を示す意味でも、会員の皆様の積極的参加と発表を期待したい。

2. ICME12 概要

ICME12 の全情報： <http://www.icme12.org/>

※情報は更新されますので詳細は必ず Web サイトでご確認下さい。

2-1. 日程概要

期間：2012 年 7 月 8 日―15 日会場：韓国ソウル COEX 国際会議場

参加費：2012 年 4 月まで 400US \$（以後は UP します）

日時	7月8 (日)	7月9日 (月)	7月10日(火)		7月11日(水)		7月12 日(木)	7月13日(金)		7月14日(土)		7月15日 (日)
8:00	参加登録受付	参加登録受付					エキ スカ ー シ ョ ン					
8:30												
9:00		開会行事	全体講演 III		全体講演 IV			全体講演 VI (パネル)		全体講演VII		全体講演 VIII
9:30										コーヒーブレイク		コーヒーブレイク
10:00			コーヒーブレイク		コーヒーブレイク							
10:30								コーヒーブレイク				招待講演 VI
11:00		コーヒーブレイク	分科会(TSG I)		分科会(TSG II)			分科会(TSG III)		分科会(TSG IV)		移動(休憩)
11:30												
12:00		全体講演 I	昼食/展示		昼食/展示			昼食/展示		昼食/展示		閉会行事
12:30												
1:00	昼食/展示	招待講演II		招待講演III		招待講演 IV		招待講演 V		お別れパ ー ティ		
1:30												
2:00	講演 I	移動(休憩)		移動(休憩)		移動(休憩)		移動(休憩)				
2:30												
3:00	移動(休憩)	国別発表		全体講演 V (パネル)		Varia ワーク ショップ等		サーベイチーム				
3:30												
4:00	全体講演 II	コーヒーブレイク		コーヒーブレイク		コーヒーブレイク		コーヒーブレイク				
4:30	コーヒーブレイク					ICMI認可 研究グ ループ		ICMI認可 研究グ ループ		分科会 (DG)	ワーク ショップ等	
5:00	歓迎レ セプシ ョ ン	ICMI 研 究、クライ ンプロジェ クト	国別発表	分科会 (DG)	ICMI認可 研究グ ループ	ポスター/ 円卓会議						
5:30												
6:00												
6:30												
7:00												
7:30												
8:00												

2-2. 発表申し込み方法

◆学術プログラムは、全体セッション、調査チーム、招待講演、主題研究 (TSG)、ディスカッショングループ (DG)、ナショナルプレゼンテーション、ワークショップ、展示、ポスター、ICMI 提携研究グループ、ICMI 研究などの時間枠からなる。これらの時間枠は、大きく分けて、次の3つに分けられる：A) 時間枠を与え内容は任せる、B) 公募して任せる、C) 個人発表を受ける。WEB サイト上に、それぞれの発表方法の詳細が記されている。

◆A のスピーカー・組織者決定は、国際プログラム委員会マター。TSG は、近々、そのセッション毎に発表募集があり、website を注視する必要がある。発表募集がある場合（ないセッションもある）、ICME の特質としてできるだけ多様な発表、各国からの参加を促す主旨があり、結果として発表時間を質疑を含めて 10 分と短くしてでも多くの発表を認める傾向がある。各国からの発表であるので、国際水準でのリファレンスが必ずしも要求されない。TSG にはその領域の著名研究者が集うので、TSG での発表は荣誉ある発表機会となり、今後国際共同研究をする際の人間関係構築の場ともなる。会員の TSG での発表を是非期待したい。

◆B のディスカッショングループ、ワークショップ、展示は、これから提案できる。提案-受理のタイムラインは website 上の解説を要参照。ディスカッショングループ、ワークショップの組織・提案では、IPC への確かな働きかけが必要と思われる。

◆C では、参加するからには発表することを大切にしたい。英語は苦手でもよい交流の場となる。ICMI 側でも、ポスターセッションは、最良の発表方法であり、A,B の内容と連動させることを期待している。

◆おおよその主要日程は以下の通り。

2011 年 6 月 30 日：分科会（ディスカッション・グループ）企画申込締切

2011 年 8 月 30 日：分科会（ディスカッション・グループ）企画可否連絡

2011 年 11 月 1 日：分科会（トピック・スタディ・グループ）発表申込締切

2011 年 11 月 30 日：ワークショップ等申込締切

2011 年 12 月 15 日：ポスター・展示申込締切

2012 年 1 月 15 日：分科会（トピック・スタディ・グループ）・ポスター発表の可否連絡

2012 年 4 月 10 日：すべての発表原稿の最終版提出

◆詳細はプログラムに応じて異なるようで、必ず WEB サイトでご確認下さい。

3. 提携研究グループ衛星会議日程概要

3-1. HPM 国際数学歴史・教育学会(4年周期／中間年に ESU をヨーロッパで開催)

期間：2012 年 7 月 16 日—20 日

会場：大田広域市 Daejeon, Korea

URL：<http://www.hpm2012.org/>

※参加者は 100 名以上、300 名未満。過去の HPM での先行研究への参照を発表の前提とし

ない点で、また数学を基盤に発表できる点で、発表しやすい。

※発表申込：2011 年 6 月 30 日（タイトル・要旨）、論文締切：2011 年 11 月 31 日

締切が早いのは、論文掲載までに修正指示など査読サイクルに十分な時間をとるためである。

遅れた場合でも問い合わせをされることをお勧めする。

3-2. PME 国際数学教育心理学会(第 36 回年会)

期間：2012 年 7 月 18 日—22 日

会場：国立台湾師範大学

URL：[http://www.tame.tw/pme36/show_content.](http://www.tame.tw/pme36/show_content.php?content_id=1)

[php?content_id=1](http://www2.ntnu.edu.tw/)

<http://www2.ntnu.edu.tw/>

※数学教育界では最大の年会組織。例年参加者は 500 名以上、1000 名未満。過去の PME プロシーディングス掲載論文ないし関連研究を先行研究として参照することを前提とする意味で、数学教育の心理学的研究に特化した組織である。先行研究に不案内であれば、ポスター発表をお勧めしたい。

3-3. WFNMC (World Federation of National Mathematics Competitions)

期間：2012 年 7 月 12 日—14 日

会場：韓国ソウル

URL：<http://www.wfnmc.org>

3-4. MCG (Mathematical Creativity and Giftedness)

期間：2012 年 7 月 15 日—18 日

会場：韓国釜山

URL：<http://www.igmcg.org/index.html>

※この会議は実践と数学を基盤にした自由な研究発表の場である。数学の楽しさを教材を通して語りあう点で発表しやすい学会である。